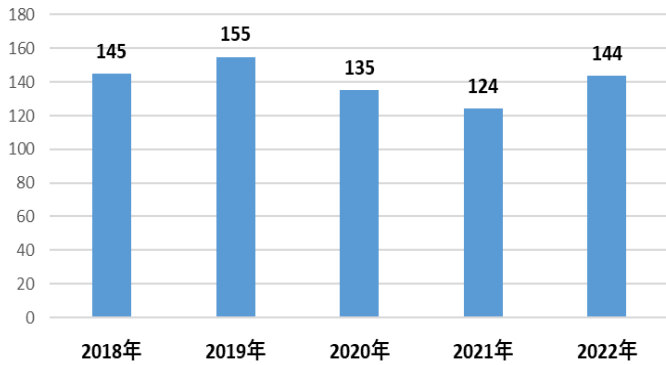
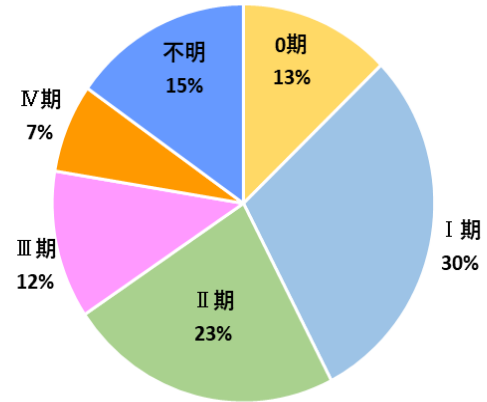


部位別:大腸 2022年症例

1) がん登録件数



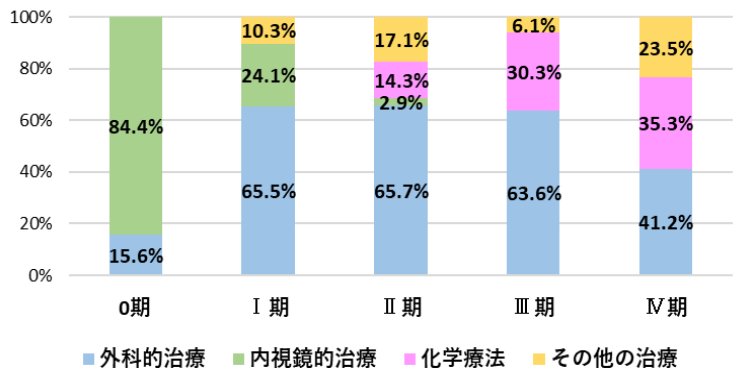
5) 治療前ステージ (病期) 別割合



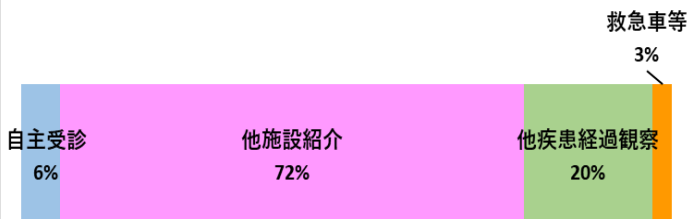
2) 発見経緯



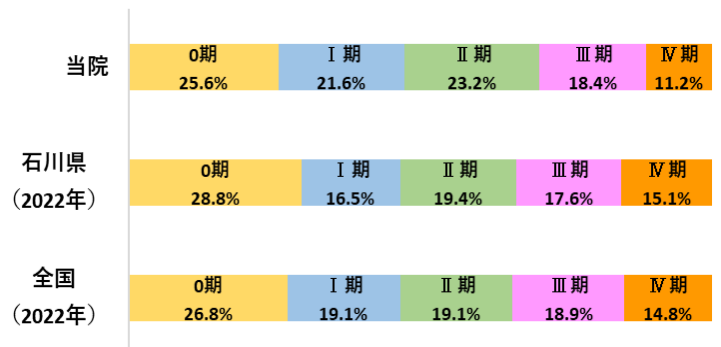
6) ステージ別初回治療 内訳



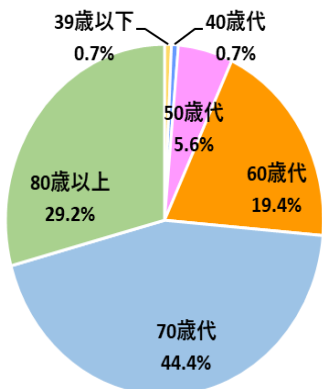
3) 来院経路



7) ステージ (病期) 別割合比較



4) 年代別内訳



【解説】

当院の院内がん登録全体に占める大腸がんの割合は約13%で2番目に多い部位です。

下血や腸閉塞などの自覚症状で発見されることが多く他施設からの紹介により治療を開始する症例が多いです。

男女比は6:4で男性がやや多く、診断時の平均年齢は74.6歳です。

全国および石川県全体と比較すると、ステージI~II期のがんがやや多い傾向にあります。当院での初回治療は、ステージ0やIの早期がん症例に対しては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、ステージIIおよびIIIの進行がんに対しては外科手術や化学療法を組み合わせた治療を積極的に行なっています。